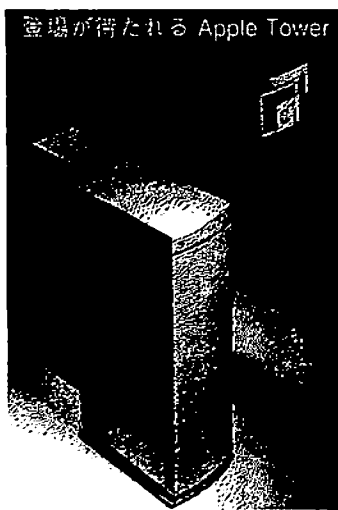


林檎

岩手Mac友の会

Vol.3, No.5 1991.10.19

Iwate Macintosh Funclub



第3回MMM

今年もMMM (Meet the Mac in Morioka/Michinoku) が開催できる運びになりました。これも一重に IMF 世話人の方々の努力によるものと感謝致します。

加えて我々の支えになるのは、何と云っても遠方からおいでいただける参加者の存在でしょう。著名なパワーユーザーの方々が、地方ユーザーの集いに自費で参加していただけるのは、本当に頭の下がる思いが致します。

参加していただける方々が、MMMに何を期待してこられるのかは推量の域を出ませんが、その期待に応えられているとは思えない企画運営をしていると思います。

折角、一年に一度東北のMacユーザーが一集う機会をできるだけ実りの多いものにするため、世話人一同知恵を絞って検討を重ねてまいりました。少なくとも前回よりは良いものになっていることと自負しますが、いつものいかげんさが出てしまうかもしれませんので、ご容赦願います。なお、お気付きの点がありましたら、世話人に伝えていただくようお願い致します。

豪華なゲスト

今年のMMMには、アップルコンピュータジャパンからユーザーグループサポートの青山さんが参加するのをはじめ、マック関連の雑誌でおなじみの、川村湯真さん、Dr.K こと佐藤圭さん、諏訪茂男さんなどがゲストとして参加します。(ゲストといっても、自費参加です。感謝感激です)

それに、特別参加として、NeXT Japan から、中村さんがNeXTを引っ提げて参加して戴くことになりました。Macintoshの良きライバル?として歓迎致します。

鬼が笑う話し

来年の話しは鬼が笑うと申します。怒ると恐いので笑って戴きましょう。というわけで、来年2月20日から開催のMACWORLD Expo./Japanについて先般ACJから、友の会として出展する意志が有るかどうかのアンケートが

有り、(内容はBBSに掲載)9月の例会で、協議した結果、IMFとしては出展しないことに決定し、次のように解答致しました。

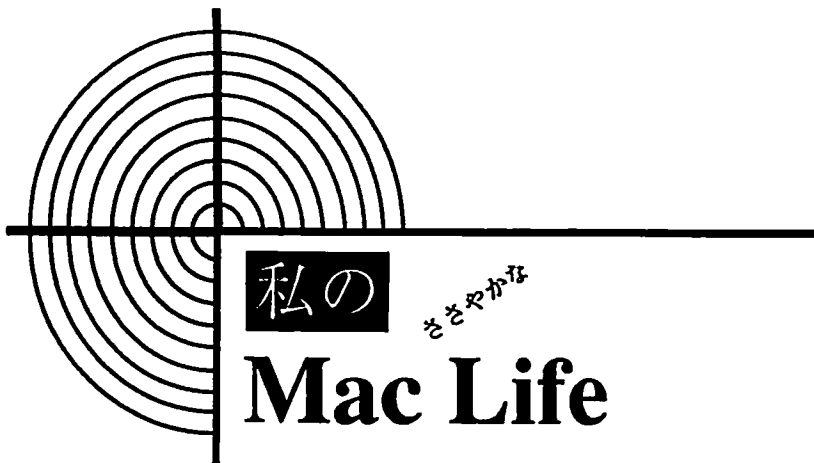
ユーザー(および予備軍)の集まりである友の会は、M/W Expo.を見学する立場を取りたい。ユーザー会の活動目的は会員相互の情報交換であり、会員以外の不特定多数に対して宣伝/勧誘活動をするのは、不用であろう。ただし、ACJまたは他のユーザー会からの支援要請には協力を惜しまない。

東京や九州のユーザー会では、Macのお祭りとして積極的にイベントを企画して盛り上がっていて楽しいものになりそうです。



Inside

私のMac Life	2
山の花	4
茶房	5
訪中記	6
MMMその場しのぎ	8
English Column	10
オレゴン戦記	11
How to DTP	12
余計なお世話	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16



私の

ささやかな

Mac Life



佐々木 華司

私のMacの環境は自宅と職場にそれぞれ1台というもので、職場のものは1986年頃ですから、結構古いユーザーということになるでしょうか。残念ながら双方ともPlusですが、今でも現役で使えるというのがMacの嬉しいところです。（まあ、結構高かったんですからこのくらい使えないと...。）

職場のPlusは仕事もしています

今年の4月から、盛岡市の教育委員会で教職員の管理をやっております。

異動する前の職場では、皆さんに利用していただいていた盛岡市BBSのSYSOP用の端末として活躍してくれました。ホストのポートに直結してUNIXの端末として使ってみたりして遊んでおりました。NinjaTermやASLTalkで、かなり自在に動いてくれます。Macの操作性でUNIXというのはとても快適なのではないかと思えます。とても手ができませんが、A/UXやUNIX側のX-WINDOWなんか面白そうです。

今はもう薄汚れてしまっているPlusを机の上に持ち込むため、周りの（つまり上司の）理解を得るまでに2年ほどかかりました。コンピュータを触っていると遊んでいると思われ、まして、机の上に置いて日常的に利用するなどというのは普通ではなかったのです。NOTE型の普及で最近では情勢が変わってきてはいますが。

今の職場では定型的な業務が多いので、Plusの活躍の場が増えそうです。データベース、表計算とワープロがあればとりあえず間にあうようです。今の仕事は小中学校の教

職員名簿を多用するもので、前任者が日立の2020とDB IVというソフトで組み上げたものがあり、この組み合わせで苦勞した彼には悪いのですが、Macユーザーからみると恐ろしく操作性が悪いので、Macに移してしまいました。

（SuperDriveはありがたいですね、DOSのデータを簡単に持ってこれます。Plusにはついていないので、照井さんのところのMacをお借りしました。）

現在までは、ExcelとFileMakerの組み合わせを最も頻繁に利用しています。FileMakerに取り込んだ名簿でFindやSortを行ない、Textで書き出し、Excelで加工する、というのが常用のパターンです。各種データを差し込んで報告書などを自動的に刷り出すという程度はFileMakerで充分なのですが、少し複雑な処理を指向すると組込関数が貧弱でマクロ言語もついていないので、どうしてもExcelの助けを借りなくてはなりません。触ったことはないのですが、4Dならば1本で間に合うのかもしれない。System7のアプリケーション間通信が使えるようになれば、今の組み合わせでもかなりのことができそうですが。

Excelでは、もうひとつ、マクロを使って仕事の自動化を図り、楽をしようと目論んでいます。まず手をつけているのは、育児休業などで休職した教職員の休業期間と前回の昇級日を入力すると自動的に次の昇級日を計算し、必要な帳票をプリントアウトするというものです。コマンドマクロを使って作業まで自動化するというのが最終目標ですが、仕事の合間に作業しているので、今のところは計算に必要な関数マクロ（例えば、休業期間が何月と何日になるかを計算するといったもの）を作りワークシート上で表示させ、それを帳票に移す程度のものにとどまっています。

不満はプリンタとPlusの処理速度です。プリンタは私物の安物インクジェットを持ち込んでいるのですが、「昔の



ワープロね」と言われる品質で、やはり、仕事にはNTX-Jなどのポストスクリプトなみのものが必要なようです。TrueTypeはまだかしら。Plusの速度は.....、買い換えるしありませんね。

最近、Classicが出たせいか、Macを買おうとして見学にくる職員が増えてきました。Excelなどを少し動かしてみせると感心してくれるのですが、これまでコンピュータを触ったことの無い人はいろいろなところを聞いてまわりたいで、DOS系の人は人数も多いけど声も大きく、結局98などを買ってしまうようです。初期のユーザーは、他のものと比較したのではなく、Macに惚れて買った人が多かったような気がするのですが、今はコンピュータの単なる1機種なのですね。私は伝導師にはなれません。

自宅のPlusは遊んでいます

個人的にやってみたいことも様々あるのですが、子供の遊び相手で、時間をとられてしまっています。少しはプログラミングでもやってみようとしてPascalやらSmallTalkやら無謀にも買ってしまって、InsideMacまで持っているのですが、こういうものはまとまった時間がないと本棚のこやしです。それに目的がないとやってみようという気にもならないものですね。

グラフィックにも少し興味があるのですが、Plusの速度、白黒2値の表示、画面が9インチでは制限が多すぎます。

今自宅のPlusは、通信と会報づくりの専用機と化しています。

新しいMacが欲しいなあ

System7が出て、使えるとというのはもののPlusユーザーには、それ何の話と、例会ではにこやかに笑いながらも、内心忸怩たるものがあります。

PhotoShopなどのカラーやグレースケールを扱うグラフィックソフトをみせてもらおうとPlusの白黒2値がうらめしく、欲求不満に陥ってしまいます。

それに、少し大きめのデータを扱うと、ちょっと一服して待つどころか、朝メニューを選択し処理が終わったら昼食時間だったということがよくあります。

愛着のあるPlusですが、さすがに時代遅れの感は否めなくなってしまうようです。

「職場では、都南村との合併のどさくさで何とか速い機種に換えて、レーザープリンタを入れて.....」「自分のものは、一度買ったら、あと2年ぐらいいは買い換えられないから、もう少し待とう、Plusにアクセラレータを入れようか、でも、カラーもグレースケールも出ないし、まずは、貯金第一.....」「しかしまあ、何で次から次へと新機種を出すんだらう、これじゃあ、買ってもすぐ古くなってしまいうじゃないか、困るなあ、Plusが出た頃は良かった」「NOTE型も欲しいなあ」「ColorのPlusが出たらすぐ買うけどなあ」などと夢想と現実の狭間で、雑誌をながめては嘆息をつく毎日です。



人によって写真写りのよい人とそうでない人があります。美人は何時でも誰が撮っても美しいものです。それ以外の人には、光の方向、顔の向き、自信の有無、その時の緊張の度合いによって写りかたに相当の差が出来るようです。誰でも心穏やかなとき、仕事に打ち込んでいる時は、素晴らしい顔になります。

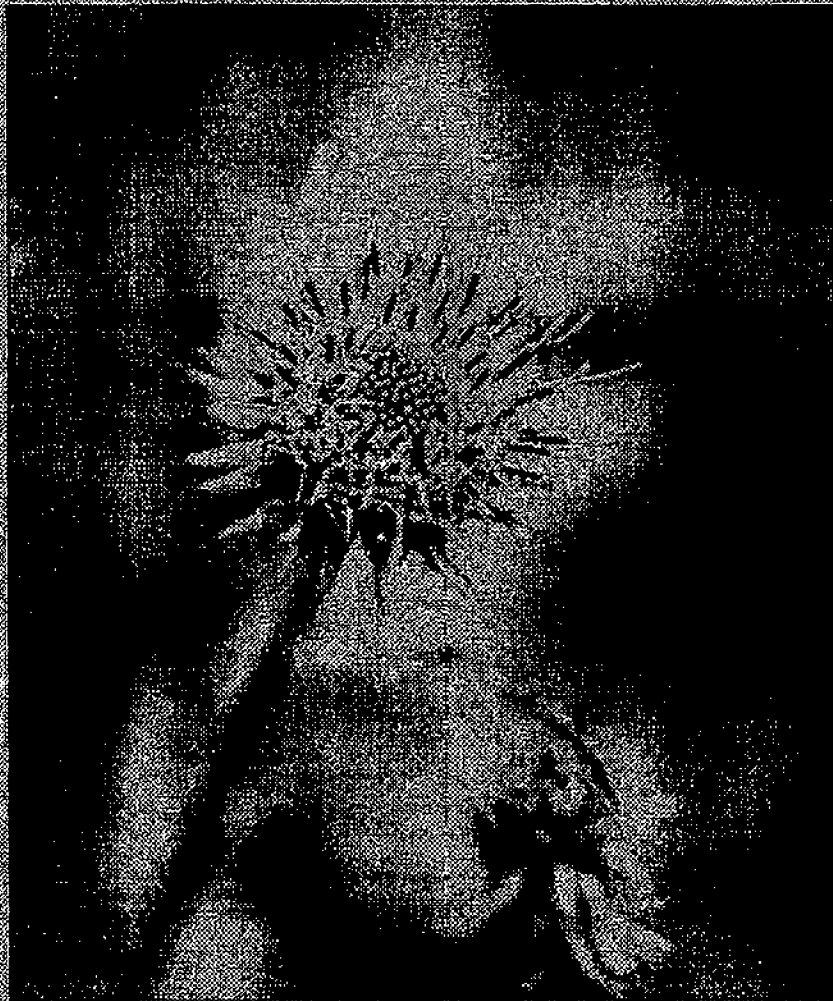
花も見えて美しく、写真に撮っても綺麗な花が有ります。しかし、誰もが何



時撮ってもと言うわけにも行きません。写す角度、絞りによってまるで違ってきます。その日の天気にもよりますが、花曇と言うように曇った日の

方が、見た目にも写真写りも良く、更に朝露が付いていれば最高です。

ガンジュアザミは見た目には、目立つ花ではありませんが、良く見ると少し濃い目のピンク色をして、奇麗です。ガンジュとは、岩鷲山(がんじゅさん) = 岩手山の古名です。名前のとおり岩手県の固有種です。これがまた写真写りが良く、スキャナーで取り込むだけで、Photoshopで手を加え無くても良い出来栄です。



ガンジュアザミ



§1. 基盤は情報処理のプログラム

基盤には大きく言って二つの働きがあるのです。まずそのひとつは、情報の処理の仕方です。

あなたにとって何が大切？といきなり問われれば、誰でも戸惑うでしょう。けれども、はっきりと答えることはできなくても、現実の中で、私たちが大切にしているものの優先順位はおよそ決まっていますのです。どううとき嬉しいのか。悲しくなったとき、どうするのか。苦しくなると、どうやってそこから抜け出そうとするのか。人に対する接し方。距離の置き方。身振り、顔の表情.....。

一人ひとりに決まったパターンがあるのです。それらをその都度考えて決める人などはいないでしょう。気がついたときには反応が勝手に起こってしまうのです。

つまり基盤とは、自分の考えや判断、発言、行動のすべてをほとんど自覚することなしに生み出す自動回路であるということです。基盤は芝居で言えば脚本、コンピュータで言えばプログラム。物語の筋を決め、情報の処理の仕方を決めるものです。

この基盤のプログラムはほぼ幼児期に原型が出来上がります。兄弟姉妹のいずれに生まれるかで、脚本は全く違ってしまふでしょう。兄や姉であれば、面倒を見たり皆をまとめることが当然であり、弟や妹であれば、世話をやいてもらうことが当然になるからです。母親から求められる行動も違ってくるでしょう。

時代が変われば常識が変わり、価値観が変わってプログラムも変わります。

「招かれざる客」という映画の中には、人種差別に対して異を唱え続けてきた大学教授が、自分の娘から「黒人と結婚したい」と打ち明けられたとき、どうしても素直にうなずくことができず、葛藤する様が描かれていました。それはこの教授の基盤の深いところには、時代からの差別感が流れ込んでいたからでしょう。

基盤は地層のように、層状をなしているものです。幼いころの影響や社会全体に浸透している文化性などは、自分でも気づけない奥深くに根を張り、私たちを支配する力です。

§2. 基盤はデータバンク

もうひとつ、基盤はデータバンクの働きをしています。情報の貯蔵庫であり、辞書の働きです。生まれ育った時代や環境（地域）、知人や家族、両親から流れ込んできた生き方や考え方のすべてが、そこに貯蔵されているということです。今はすっかり忘れていたようなことでも、私たちが経験したことの一切は、そのとき持った感情と一緒に貯蔵庫に蓄えられています。幼いころによく聞かされた言葉や話、繰り返し見せられた行動、そこに漂っていた空気までが、しっかりと私たちの中には刻み込まれています。

私たちは現実の瞬間瞬間に、基盤という辞書を引き続けています。そうやって擦り合わせ、その意味を考え、対処の仕方を探し出しているのです。それを意識することなく自動的に無自覚にやっているのが、普段の私たちです。つまり基盤とは、生き方のマニュアルでもあるということです。生まれてから経験してきた「こうすればうまく行く」「こうすれば失敗する」といった体験上のノウハウを蓄えているのです。

だから、もし、辞書にない言葉に出会ってしまったら、途端にうろたえることになるのです。今まで一度も出会ったことも経験したこともない事態に直面したとき、自動的に応えられないからです。

逆に言えば、自分に流れ込んでこなかったものは、ほとんど取り出すことができないということです。

§3. 自由は基盤と向かい合うことから始まる

あなたは疑問に思われたことがないでしょうか。なぜ人間は、今日に至るまで同じ過ちをかくも繰り返すのだろうか。

人間に生き方の指針を与えた先達は、イエスや釈尊をはじめとして数多く存在し、いずれもが深い教を示してくれています。私たちが何を大切にして、どう生きるべきかは、すでに十二分に示されていると言ってもよいでしょう。私たちはすでにわかっているのです。しかし、わかっているも容易に実行できるわけではありません。人は相変わらず自己中心の想いをもち続けています。エゴに翻弄され続けています。乗り越えようとしてきたにもかかわらず、ずっとそうであるとしたら、そして人間がいくら平和を望み、融和を求め、慈悲と愛によって知恵を尽くそうとしながらも、ことごとく挫折してきたのならば、そこにこそ、人間について私たちが真剣に考えなければならないことがあるのではないのでしょうか。

なぜそう生きられないのか。

一体、何が本当の問題なのか。

そのことを解決してゆくためには何が必要なのか。

傷つけまいとしても知らず知らず傷つけてしまう。正しく生きたいと思っても正しさそのものが自分中心になる。愛を大切にしたいと思っても自分なりの愛になってしまふ。気づかぬうちに私利私欲に傾かざるを得ない。

それはみな意識と無意識を支配している基盤の問題なのです。

それゆえに、そのためのステップとして基盤を見つめることが必要だと思うのです。影の支配者との対話から、心の自由が始まるのです。

* いつもは聞き語りでしたが、今回は横流しです。私の先生が人間学の体系を一冊にまとめた本を出されました。§1から§3まではその本からの抜粋の抜粋です。

三宝出版 高橋佳子著「サイレントコーリング」より

7月に日中友好の翼（岩手山西会主催）というツアーに同行取材する機会を得て初めて訪中を果たした。

シンフォニーを肌で味わうような感動があった。趙一平という35歳の若者と知り合った。その出会いを一生忘れられない旅になった。

趙さんは、山政省太原市外事弁公室に勤める通訳である。自治体の観光課の職員といえわかりやすいだろうか。仕事は、民間のツアーコンダクターと同じで、外国人を主な観光地に案内して土産物を買わせることにある。

貴重な外価獲得のための市政府の尖兵のひとりだ。

市政府からもらう基本給は月額97元だが、これに月20元の勤勉手当が支給される。食料手当が6元、散髪手当が8元、ほかに一人っ子奨励金やふる手当などがつき、合計で150元ほどになるという。

訪中時の1元27円のレートで換算すると日本円にして4500円ぐらいになる。中国の一般サラリーマンの平均的な額だ。

奥さんは会社員。4歳の男の子がいる。両親との同居は、住宅事情の厳しい中国では当然のことだ。日中の子供の面倒は母親がみてるものの、そのかわり親子3人は6畳1間の暮らしである。

一家が生活する太原市は、北京から南西へ500キロ。東シナ海と山脈ひとつ隔てた大陸の中にある。人口は約270万人。省都である。

駅から直線で約10キロ延びる幅員60メートルのメインストリートの両側には10階建て規模のビルが建ち並ぶ。街には、若者のオートバイと各国（日本製とドイツ製が多い）の車が

き交う。都市ならば、中国全土でこの光景は変わらないだろう。

走っている車のほとんどは政府の所有だ。日本製の新車は8万円するというから、当然、庶民の手に届くはずがない。

しかしオートバイは、多くが個人の所有という。2万元である。年収にして10年分だ。若者にそれだけの金があるはずがないから、親が援助を行うのだろうか、家具といわず電気製品といわず収入に比較してすべてが高くてきている。それでもカラーテレビ

金の梳差し延べる

訪中記

関口厚光（盛岡タイムス記者）

も冷蔵庫も都市ではほとんどの世帯にある。唯物主義の国民は、実に質素につましく生活を切り詰めて、数年も貯蓄しては家電製品を購入するのだ。

そうして見ると、そこにおほろげながら見えてくる中国の等身大の日常があった。

唐の都長安として知られる西安市に、遺唐使安倍仲麻呂を奉った興慶宮という公園がある。日本人向けの主要な観光名所のひとつだ。

大型バスから降りてくる日本人を待ちかまえる年老いた男女がいる。

ものいわず、目線をやや下ぎみに黙って差し出す手には、しわくちゃになった中国人民元の紙幣が数枚たばねてある。そうして慈悲を乞う。

庭園内で5歳ほどの男の子と並んで歩いた。彼はこちらの胸ポケットを指さしながら、きれいな日本語の発音で

「ボールペンをいただけませんかでしょうか」と言った。こちらも商売がら、数本も突っ込んでおくのが趣味ではある。

だが、それは十分なカルチャーショックだった。慈悲を求める心にこたえるだけの宗教的素養にこちらは欠けていた。いまでも残念だと思う。

7月の中国は真夏である。気温は連日40度近くに達した。

太原市から西安に向かう列車には、冷房が備わっていなかった。車両が少なく、全部にはとても割り当てはまらないのだ。日本人にとってはほとんど殺人的といつていい長距離の列車の旅だった。

まず飲物がない。ビールの車内販売はあったが、日本人以外には買わない。

一般の乗客は、中ほどの車両に備え付けのポイラーから勝手に湯を汲んできて茶を飲む。各自が手にみな広口のびんをもっている。

こちらにはかんじんの器

がなかった。

食堂車で数人でビールを飲んだ。斜め向かいに小さな孫たちを連れだした中国人の老夫婦が腰掛けていた。

あとから同行の市政府科長がやってきてわれわれの横のテーブルに座って食事を注文した。皿に山盛りのビーマン肉いために運ばれてきた。

男の子がつつと席を立ててテーブルに近付き皿を見つめる。不動の姿勢の子供には目もくれずに科長は食事を続けた。

しっこの間に包まれ見えない黄河を渡って列車は午前1時前、西安駅に着いた。とたんの雑踏である。

駅前にはアスファルトの上に直に横になって眠る若者たちの姿があった。農村を捨てて都会にでてきた農民たちだ。いわゆる流民である。

屋台には明かりがついて夜中の時

間を感じさせない。中国でも都会は、希望の都なのだ。万元戸は生まれる。だが、農村はまだ貧しい。農民は一生農民で終わる。それに耐え切れなくて、籍を抜け出す。

観 観光地に出向くと、かならず物売りが駆け寄ってきて声をかける。

水パイプであったり泥人形であったりさまざまだが、若者は「日本へ留学するための費用を貯めている」とねだる。「(中国の)金は要らない。日本の金がほしい」という。

もともと、金儲けは民間だけではない。観光を名目に中国国内の省と市の政府がみな積極的に外価集めに乗り出している。政府直営マーケットでありながら、かなりいかかわしい商品もあった。それは市によるのだ。

西安で太原市の通訳が、買うのを止めたほうがいいとおおっぴらにはいえないところに辛さがある。国内でも自市を離れば異国の地だ。

上 上海で現地の外事弁公室が、夜の街を案内するために手配してくれたタクシーの料金が1時間50元だった。運

転手に聞くとアルバイトだという。車を会社から借りて客を取る。同世代の平均的月収の半分を一回の案内で稼ぎ出してしまふ。

中国と日本とで実勢で50倍もの価格差がある現状では、なにを行っても社会にひずみが生じるのは当然だ。

天安門事件はそもそも、役人の腐敗汚職に対する庶民の怒りが爆発したものだといえられてきた。

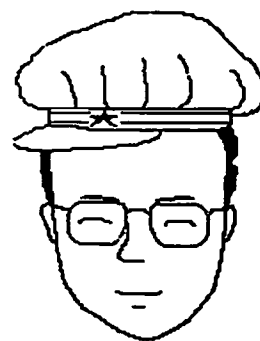
士農工商の身分が中国社会ではまだ格付けされている。報道をうなづける場面もいくつかは目にした。

夜 の街は歩くだけで楽しかった。雑踏に隠れながらスプライトを片手にウインドウ・ショッピングを楽しんだ。

上海外灘(バンド)からまっすぐ延びる一番の繁華街南京路は午後9時を過ぎても商店は閉まらない。子供を連れたい買物客であふれる。

趙さんに案内を頼んで、西安の自由市場のひとつを夕方歩いた。

直径20センチはあろうかという大きな揚げ饅頭を50銭(約14円)で買って求めて食い歩いた。路上でマージャンをやっている男たちがいた。日本の2倍はあろうかという大きな黄色のパ



イを使っていた。

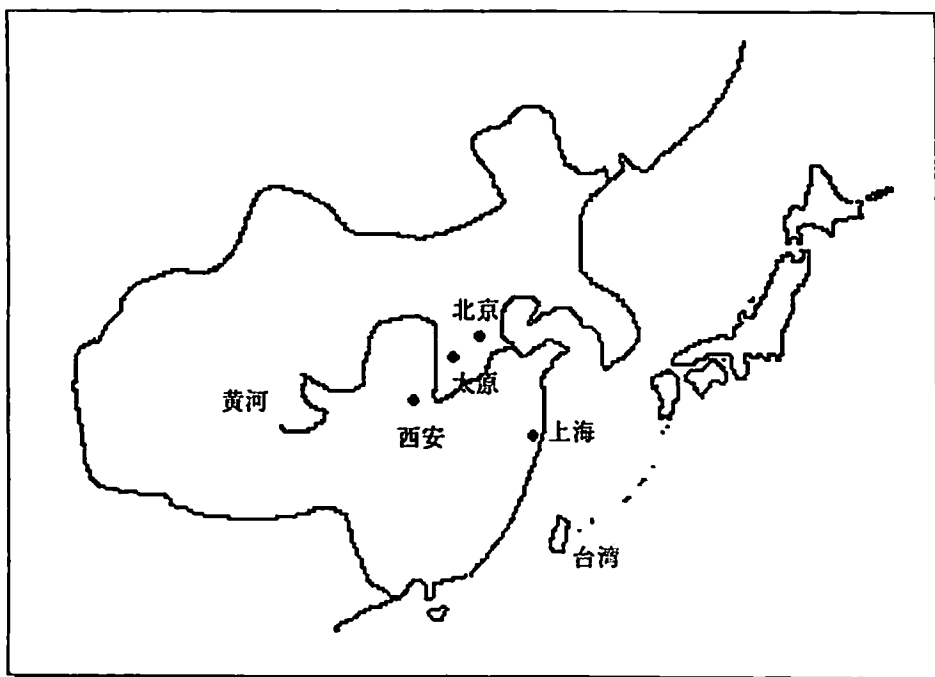
中 国といえば、戦争を頭に思い浮かべない日本人はまずいない。実際に訪れた中国は、その卑屈な思いを吹き飛ばすほどにエキセントリックだった。

趙さんは「中国は貧しくない。資源もあれば土地もある。金のわんを持って乞食をしているようなものだ」と言った。

生育的には非常に厳しい黄土地帯であっても、およそ農民のくわが入っていない空き地は、あるいは荒れ地は目に見えた範囲ではどこにもなかった。

耕かされたままにも生えない状態になっている農地はあった。

そこに老農夫がじっと座ったまま動かない。同じようにしてその場にうずくまりたいという渴望が湧き出してくるのを覚えた。



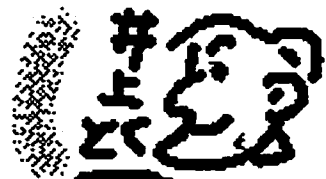
Edited By M.Asada



MMM 寄書き

お世話になります
Pasquius

佐藤 顕 これてよかった！



尾の工場が出来ると
町内会
の社員が長土居です。

IMFのみなさん
ありがとう
東北MUG 菅野



OMC



今年は参加したぞ！



imulidul
7707

初めての参加です。
仙台の白旗です。



Y.MIURA



小宮山一行
素晴らしい一日を
ありがとうございます。

（？）
また、
おたのしみ
なす。

早く家が欲しい！でも、
Macにお金がかかると
の高橋でした



Meet the Mac in Morioka

うまく写真が撮れていますね。折り返しつづ
佐藤



Medical Mac Club.の菌田です。今日から
会員にさせていただきました。どうぞ宜しく
お願いします。

ブックパソコン
登場、待ち遠しい
本館

Mac OSは使いにくいよ！
101kg = 佐原伸

and hitoshi



春の総会以来の参加です。赤ん坊二人と、夫婦で来ました。
家族四人にマック二台。来年は、4台位になっている???
よろしくお願いします。今日は、どうも有難うございました。 関(仙台)

PowerBook が欲しい！！
毒茸(Dr.K)

小学生にはAMIGAを、中学生にはMacを、
高校生にはNeXTを 佐々木 健

Macに幸あれ
90MAC068
寺田



今年はようやく食事にありつけたよー！
アザヤル

90MAC096



aoaoこと青山さん

第三回MMM開催おめでとうございます。皆様の熱意にはACJも頭が下が
る思いが致しますがこれからも、この
MMMの実施回数が日本のMacの歴史
になる位、長続きして下さい。

青山 雅博

バッチャーを引退して1年以上にな
ります。後を佐藤圭氏が引き継いだの
で、ひと安心となりました。今後は、

佐藤圭氏がたくさんのパッチ情報を公
開するでしょう。めでたし、めでた
し。

川村 祐真

は行きませんが、ぜひ期待をいただ
くとともに、MacだけでなくNeXTユー
ザー会も作って下さい。

中村 真

今年で3回目ですね。また来てしま
いました。若手の秋は最高ですね。

MMMの時期も、狙ったのかどうか
知りませんが、;-) 新機種の発表直
前ということで、いろいろと話題に尽
きませんね。

ぜひ、皆が楽しめるようなユーザー
グループ活動を続けて下さい。IMFの
ますますのご発展をお祈りいたしま
す。

諏訪 茂男



ジャンケン高橋さん

まだまだたくさんのメッセージを頂
いております。次号の「林檎」で
MMMの特集を予定しておりますので
その中でご紹介します。(^^)



JAPANESE LIFE-STYLE

...by Jane Kublick

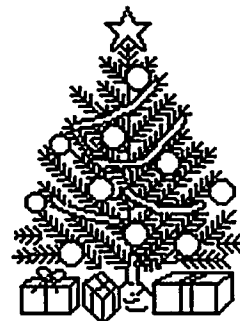


When I was asked to write this article I really wasn't sure where to start. When you talk about the "Japanese Life-style" it varies so much from area to area. For example, you have the fast life-styles of the big cities like Tokyo, and Oosaka compared to the slower life-styles of the smaller cities like Morioka, and Akita. So, I decided to write on the area that is most familiar to me and that is the smaller cities.

As I told you in my previous article, I'm from a relatively small town (in Canada) but it is near Vancouver and Vancouver has a population of approximately 1,000,000 people. Even though Vancouver has a large population I still get a feeling that it's a small town. We still have MY PACE.

Whereas, the larger cities in Japan you can't have MY PACE. People live too far away from their jobs and spend so much time travelling to and from work. One of my Japanese friends, travels about three and half hours per day getting to and from work. That is almost one quarter of her life in transport. I feel that this is a waste of one's life!

We (the foreigners) feel that the Japanese people life more in harmony with each other than do a lot of the western civilizations. The people here think about their neighbors and their neighborhoods not just themselves. It's so nice seeing people out cleaning the streets in front of their stores and in front of their homes. Japan still seems like a **Community Country**. I have travelled to many countries and I can truthfully say that Japan is one of the cleanest countries in the world!



Japan is a combination of the old and the new. You can see women going to special occasions wearing beautiful kimonos or wearing very nice suits or dresses. Here you still celebrate the old festivals (example: hina matsuri) and you are integrating other festivals from foreign countries (example: Christmas). But you are not learning the true meaning of the foreign festivals. I have asked many of my friends and students: "What is the meaning of Christmas?" Not many people could answer me. I think that there is a change happening in Japan; a fusion of cultures, and only in the next decade or two will we see what is going to happen to Japan.

As the world is growing smaller, the life-style of ever country is changing!

オレゴン戦記

by....Takuya Kanno

前書き

さほどの目的があるわけでもなく、大金をはたいてアメリカオレゴン州を旅してきた。16人も人間が参加したにもかかわらず添乗員なし、日程は日にち単位のもので現地に行ってみないと何があるか分からないというツアーであったが、第一目的地にディック&エバリン・ハリーさんご夫妻(元 IMF 会員)が待っていてくれるのを希望に出発した次第である。

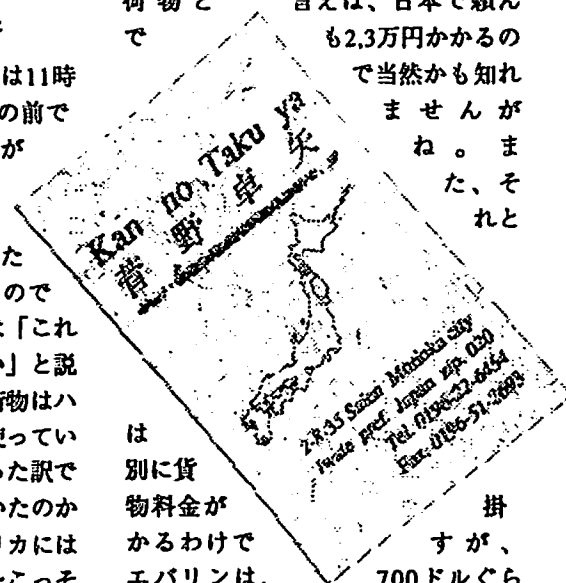
ポートランド到着

ポートランドに到着したのは11時ちょっと前であろうか。税関の前で一悶着起きた。ツアーの一行が携帯していたダンボール箱のことであった。16人全員が1個ずつ持って通関しようとしたとき税関の人が中身を聞いたのである。ところが一行の何人かは「これは私ではないから分からない」と説明した。実際のところ、この荷物はハリーさんが日本にいたときに使っていたもので、言わば引越荷物だった訳で預かった人は中に何が入っていたのかまるで分かっていない。アメリカにはアジア系の人達が骨董品などをこっそり持ち込んで現地で売りさばき生活の足しにしたり、日本人の場合には、そのお人好しを買われて、麻薬の運び屋を知らないうちにやっちゃったりすることがあり、トラブルが絶えないとこのことで税関のチェックもかなり厳しかった。結局スッタモンダしたあげく、一旦通関したダンボール箱を外で待っていたディックから取り戻し(警官立会の下で)すべての箱を一旦貨物扱いで外に出すことにして一件落着。この間何と3時間ネゴシエーション狐

軍奮闘であった。おかげで税関の人達とも打ち解けて、いい友達(?)になった。手続きは日本以上に七面倒臭く、お役所仕事を感じさせるが、お互い分かり合えば基本的にはうまくやりたい同志な訳で、結構楽しく話が出来た。(それにしても到着してすぐの3時間を英語のレッスンに使えるなんてなんてラッキーなんだらう...。)

これからがまた一仕事

ポートランドがこんなことでは終わりません。貨物に回された16個の荷物を取りに行かなければならないということになり、エバリンと一緒に空港の運送会社荷物受取所に行った。経済観念の発達したアメリカ人は宅配便など使わないのだ。もっとも16個の荷物と言え、日本でも頼んで



でも2,3万円かかるので当然かも知れませんが、また、それと別には、貨物料金がかかるわけですが、エバリンは、700ドルぐらいを覚悟していたようです。運送会社でも一悶着荷物の中身を申告しなければならぬが、なにせ普段の生活用品ばかりなので一々申告できなくて困ってしまった。そこで荷物を開けてみることにした。古着には値段が付けられないので、衣類以外のものが出てくるまで荷物を開けた。その内に漆塗りのお椀(日本人からいただいたお土産とのこと)などがぞくぞくと出てきてひやりとした。実は、荷物の中身によって金額が決まるとのことであ

り、もし、本気になって価格を算出したら、2,000ドルぐらい掛かりそうなのである。これは何だと言う質問に漆塗りであるとの説明。相手は漆塗りを知らない。材質は何かと聞く。エバリンが木製と答えた。漆塗りで木製と言え、日本人が考えると1つにつき数万円はするものということになる。とっさに私はエバリンに対して意見を言った「エバリン、最近の漆塗りは木地にプラスチックを使うほうが多いよ。最近ほとんど木製のものは使わない。」平然として、しかも運送屋さんに聞こえるように。運送屋さんは、「漆塗りの木製品」をリストから探し出すのを止め、プラスチックの皿の欄を探し初めた。今思うと心が痛むが、結局のところ700ドルが33ドルになったのだから神に感謝しなければ。合掌...。この仕事がすんで、家に帰ったのは午後4時を少し回ったところであり、他のメンバーはローズガーデンを散歩してきたとのことなかなか良いじゃありませんか。

まだまだ続く

ここまで来て紙面がふさがってしまった。これがアメリカ到着当日のことである。旅行の中身は押して知るべし。であり、その中には、アップルやらマックなんぞは入る余地もないほどである。唯一マクドナルドをマクダネルと発音することを覚えたのがマックと関わりであろうか。旅行のことはまたお会いしたときの楽しみに取っておくことに致しまして、全く舌つらずのお話しになってしまいました。まずはペプシとフレンチフライ、オニオンリングで休憩と行くか。

挿し絵は

旅行中に使った名刺で、イラストレータとマックドローで作成したものです。



How to DTP

編集委員の手前味噌

その3 文頭にアクセントを付ける。

by 照井 秀夫

前回はAldus FreeHand とかAdobe Illustrator とか、
難しそうなソフトを使ったテクニックでしたが、今回は
ワープロソフトでも応用が出来るものをご紹介します。

林 検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付けること
が良く見受けられます。

まずはこれです。簡単そうですね。本文は通常「細明朝」9ポイントで書かれています。又、段落の頭は2バイト文字1文字分空けていますので、文頭の空白（スペース）を削除し、「林」1文字をセレクトし文字サイズを18ポイントにします。

林 検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付けること
が良く見受けられます。

なんだか変ですね。そうです、1行目と2行目の行間が空き過ぎました。ページメーカーは「字体設定」で文字の大きさの他「行送り」も設定できます。通常「行送り」は「自動」を選んであります。こうすると文字サイズに応じた適正な「行送り」をしてくれます。ところがこのケースでは第1行目は「林」が18ポイントなので18ポイントの適正「行送り」をしてくれました。正に余計なお世話です。

対策は「林」の「行送り」を18ポイントに設定すればOKです。

「林」が18ポイントでは大き過ぎる
と言う方は、試しに14ポイントに
してみましょう。

林 検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付けること
が良く見受けられます。

この場合の「行送り」は14ポイント
です。

林 検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付けること
が良く見受けられます。

まあこれも似た様な物ですが
「林」に座布団を進呈しました。更
に印象が強くなります。

「林」を大きくするところ迄は先
の例と同じです。次に「林」の前と
後に9ポイントの半角（1バイト）ス
ペースを挿入します。簡単そうです
が以外とこれが難しい。「林」の前
や「林」と「橋」の間にカーソルを
合わせ半角スペースをキーボードか
ら入力しても行送りの問題で悩ま
されるかも知れません。

本文の文中にちょっと半角ス
ペースを打ち込み、カット・アンド・ペ
ーストでやるのがスマートで簡単確
実です。

座布団は「ツール箱」の□ツール
で適当な大きさに描けばいいのです
が、これにもちょっとしたコツが有
ります。

描き初めは「塗り」を「なし」に
指定して下さい。初めから黒塗り
ですと「林」の文字が見え無くな
って作業がやり難くなります。

林 検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付けること

これで座布団の「塗りを」「べ
た」にしますと、

林 検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付けること

あれ「林」が見え無くなりました。
「林」をセレクトし「文字スタイル」
を「反転」にすれば白い文字に
変ります。

林 検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付けること
が良く見受けられます。

最後はこれです。
「林」を文頭からカットし、1行目と
2行目の先頭に全角（2バイト）ス
ペースを3個ずつ挿入します。

検編集のテクニックとして段落
毎の文頭にアクセントを付
けることが良く見受けられます。

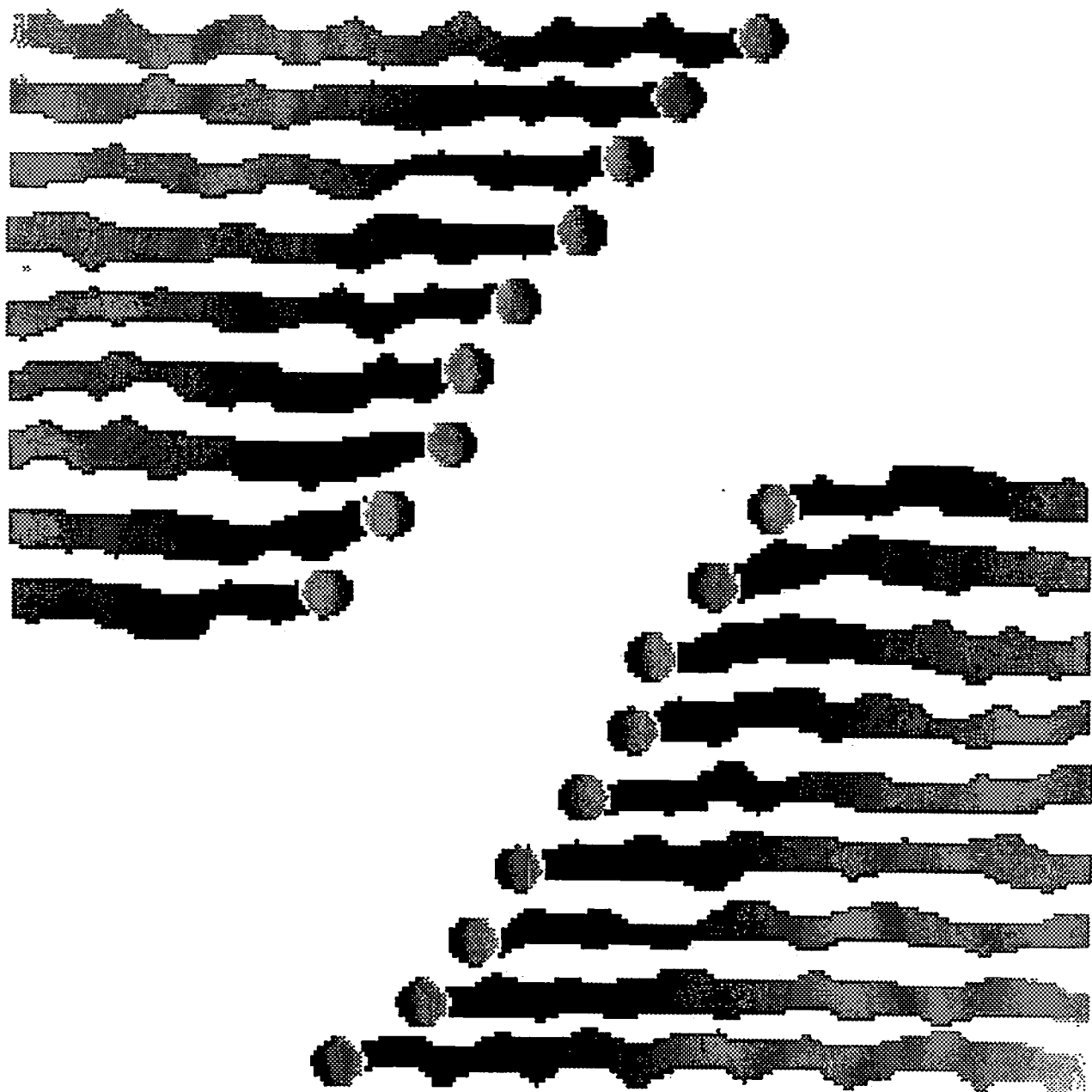
これに別のフィールドで用意した
18ポイントの「林」と座布団を合成
します。この後の作業各自は考
えてみて下さい。

如何でしたか。ワープロでも応
用出来る様な物もあります。貴方
の文書がちょっとしたアイデアで
印象が変わります。

記・編集



林檎ギャラリー



1991.M.segawa

by瀬川昌男

“もの忘れ”にAfter Dark

by 吉田新二

古 典落語に「そこつの使者」というのがある。話のすじは、治部田治郎右衛門という部屋住みの侍が登場するが、このご仁そこつ者のうえ、めっぼうもの忘れのはげしい男。ある日、殿様の使者の役を申しつかったが、行った先で使者の口上を忘れてしまった。こんな時いつもするように、おしりを釘抜きで力いっぱい何回かつねってもらって、やっと思い出したというもの。落語の面白さの中にも、物忘れの苛立ちと人知れぬ努力の様子がよく語られている。しかし、落語として聞いているうちは面白いが、これが自分のこととなると話は別である。

小 生も歳のせい、最近トント物忘れがひどくなり、眼鏡、車のキー、書類などの捜し物をする時間がめっきり多くなった。物忘れが自分だけのことならまだよいのだが、ひと様に関

わることになるのとんだ恥かきになるし、とんだ迷惑をかけることになる。会議の席上、出席者の紹介役を急ぎよ仰せ付かり、立って一人一人紹介を始めたものの、途中でどうしても名前を思い出せずに困り果てることある。同じようなことで、行事日程のうっかり忘れがある。当然、小生もスケジュール・メモの手帳を常に胸のポケットに入れており、折あれば記入したり確認したりしている。しかし、その気になっていないときはついついスケジュールをうっかり忘れてしまう。今晩はなんの会合もないものと、晩酌を楽しんでいると突然電話が鳴って「先生は

向かわれましたか、皆さんお待ちです!」。「ついさっき出ました」と家内が苦肉の応対。以来、何もない晩は気持ちが落ち着かず、8時ごろまで電話がなければ初めてほっとするありさまである。

物忘れには“度忘れ”と“うっかり忘れ”があるが、対策としてはもの本によれば「連想法」「頭字法」「直接連結法」「連想結合法」等々…難しいことが書かれてある。俗には、馬上、床上、廁上の三上が、忘れたこと

After Darkの使用目的はどなたもご存じのようにScreen Saverの一つですが、V 2.0では36種類の画面が用意されている。その中に「Messages」という画面があるが、ここに10種の書き込みが出来るようになっているので、小生は「今週の予定」と「本日の予定」の二種を書き込んで利用している。Macは朝からスイッチONにしてあるので、「今週の予定」「本日の予定」が自動的に目に飛び込んでくる。この自動的というところを強調したい

のだが、以来スケジュールを忘れることはなくなった。…書き込みが確かであればの話だが。

ス ケジュールの書き込みは「Edit Message...」をクリックすると、書き込み欄が出る。ここで字体、ポイント、色、動きなどを指定する。Screen Saverの性質上、指定した時間が経たないとAfter Darkは現われないのであるが、時間に関係なくすぐに

見る方法がある。どのプログラムの画面でもポインタを画面の左下隅に押しつけると、瞬時にAfter Darkが現われる。

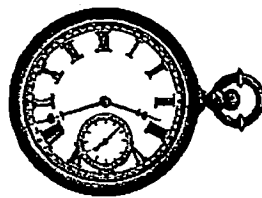
ハード・スケジュールの方はぜひ試してみてください。うっかり忘れはたちどころに解消されこと請け合いです。バッチリです。

今週の予定

- 9/15 (日) 東北医師連合
- 9/16 (月) 休み
- 9/17 (火) 班にTel
- 9/18 (水) テレビ委員会
県医師連盟 4:00
- 9/19 (木) 学校医幹事会
班回り
- 9/20 (金) RC
- 9/21 (土) 総合審査
- 9/22 (日) 伊豆

を思い出すのに良い場所とされている。緊張が解け、気持ちにゆとりがあった古い記憶が出てきやすくなるからである。しかし、開きなおって考えてみれば、覚え切れないほど仕事をしなくていいのではないかと言うことになるが、ストレスが一番いけないらしい。

前 置きが少し長くなってしまったが、小生の場合はどうしているか、一つの方法を紹介します。小生はAfter Darkを使って、スケジュールの確認に役立っている。これが大変具合がよいので、うっかり忘れに悩む人があれば、一度試してみてください。



編集後記



今回は、自分がMVPだと思っていたら、野村会長に自分がMVPだと自己申告されたので、慎んでお譲りすることにしました。あははは(^_^)徳富



そろそろ季節も寒くなってきて、山の頂が白くなるのが待ち遠しい今日このごろです。さて、いよいよ待望のノートマックが発売されそうです。今度のMMMには間に合うといいんです。アサヤン



今回は強烈な肩こりの最中にキーボードを叩く羽目に陥りました。その所为ではないのですが、「横流し」でうっちゃり勝ち。でも、「サイレントコーリング」をぜひ一読ください。ふ。



今日もざりざりで編集がおわりました。いつもヒヤヒヤです。菅野



今回も自分で執筆と編集をしました。いつも何気なくやっている事を文章にまとめる事が、自分自身の為になることを改めて確認しました。照井



MMMも三回目にもなってしまいましたね。よく続く、皆さん偉い。「私のMacLife」なんておこがましいものを書かせてしまいました。原稿の写真用にPhotoShopをお借りして遊んでみましたが、面白いソフトですね。欲しいなあ。佐々木(幸)



最終仕上げはMMMの会場で機材を持ち込んで仕上げる予定、当日が楽しみです。杉村



今回は早目に編集したので、余裕をもって最終編集会議に臨むことが出来ました。吉田先生が忙しい時間を上手に使っているのに感心しました。佐藤



今回、編集が間に合わず見えあるMVPを頂戴しました。あ~忙し~よ~ 野村

会員名簿

Harry, Evelyn	U.S.A	菅原 忠雄	花巻市
Harry, Dick	U.S.A	杉村 栄一	盛岡市
Kublick Jane	盛岡市	鈴木 是光	盛岡市
Lammers, Richard L	U.S.A	鈴木 卓石	鳥谷町
青山 真紀子	盛岡市	鈴木 裕之	盛岡市
浅田 昌彦	和賀町	瀬川 昌男	盛岡市
浅沼 清智	花巻市	関口 厚光	盛岡市
浅野 恵治	花巻市	戦場 博和	盛岡市
荒木 健次	柏市松	高島 浩一郎	盛岡市
安保 淳一	盛岡市	高橋 和良	盛岡市
伊崎 誠一	川越市	高橋 晃	盛岡市
石田 宏	盛岡市	高橋 浩幸	盛岡市
伊藤 光司	花巻市	高橋 真知子	盛岡市
伊藤 俊也	盛岡市	武元 伸次	盛岡市
井上 啓	盛岡市	田中 慶司	東京都
遠藤 幹也	盛岡市	谷口 和美	盛岡市
大石 伯	前沢町	谷藤 幸夫	八戸市
大河原 清	盛岡市	千田 昭宏	北上市
小笠原 英彦	盛岡市	塚野 弘明	盛岡市
神野 覚	二戸市	妻野 万里子	盛岡市
小沢 徹	盛岡市	照井 芳夫	花巻市
小野 世利子	本吉町	遠山 明人	盛岡市
小柳 敏和	都南村	徳富 亘	花巻市
桂川 茂彦	盛岡市	中居 賢司	盛岡市
金井 理	釜石市	中島 順	柏市
金浜 誠己	二戸市	長土居 正弘	盛岡市
兼平 信一	盛岡市	西島 光茂	盛岡市
金山 慎孝	水沢市	根本 穂彦	札幌市
菅野 卓矢	盛岡市	野村 行憲	盛岡市
木村 栄子	盛岡市	橋本 彰	盛岡市
工藤 利悦	都南村	原田 聡	盛岡市
工藤 聡	滝沢村	日比野 利彦	都南村
工藤 道範	盛岡市	平野 三千代	盛岡市
熊谷 朋也	盛岡市	深沢 旗	盛岡市
香城 孝啓	富山市	福田 健次	盛岡市
小松 寿夫	北上市	藤村 洋	盛岡市
齋藤 岳	盛岡市	藤原 和彦	盛岡市
齋藤 秀一	盛岡市	本多 健一郎	盛岡市
齋藤 武	盛岡市	米谷 則美	盛岡市
齋藤 裕	盛岡市	真値 貞治	盛岡市
佐々木 明宏	盛岡市	松倉 拓次	都南村
佐々木 幸司	盛岡市	三浦 一之	盛岡市
佐々木 健	矢巾町	三浦 利章	浄法寺
佐々木 俊光	胆沢町	三浦 吉範	盛岡市
佐々木 治男	矢巾町	三田 光男	盛岡市
佐々木 光夫	大船町	宮 義裕	矢巾町
佐々木 裕	盛岡市	村上 誠一	盛岡市
佐々木 吉則	盛岡市	村上 宏文	盛岡市
佐藤 顕	盛岡市	村上 弘行	盛岡市
佐藤 雅子	盛岡市	村川 寿	柏市
佐藤 優人	盛岡市	望月 善次	盛岡市
猿橋 浩昭	盛岡市	本館 康司	花巻市
渋谷 誠	盛岡市	森 真吉	盛岡市
鳥賀 和弘	盛岡市	山田 真希	盛岡市
白石 隆	都南村	山本 淳	盛岡市
菅原 健蔵	盛岡市	横手 登	盛岡市
		吉田 新二	盛岡市
		吉田 実	盛岡市
		吉村 弦	盛岡市
		和田 政男	矢巾町
		渡辺 浩志	能代市

例会開催案

11月16日

12月21日

1月18日

場所

中央公民館

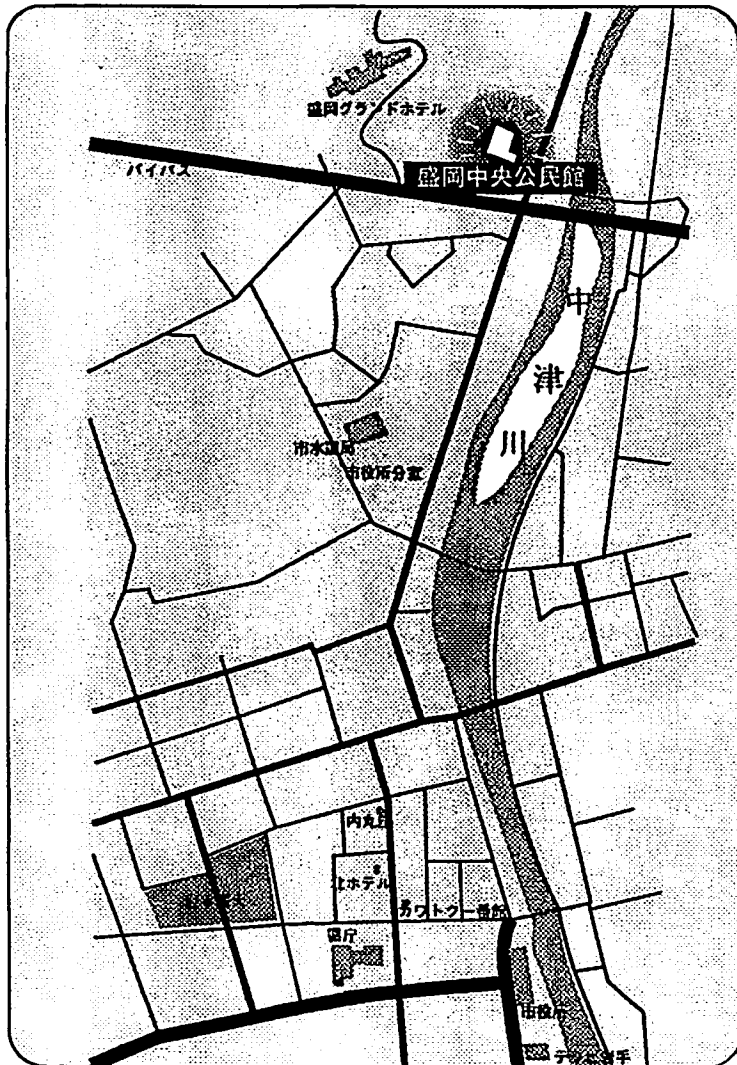
時間

開場14:00～21:00

15:00～例会行事

17:00～情報交換

駐車場が少なく、
混みあいますので、
お早めにお越しください。



「林檎」17号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	Digital Darkroom
EG-Bridge	EG-Word
Freehand	Illustrator
MacPaint	MacVJE
NinjaTerm	NISUS
PageMaker	QuarkXPress
StreamLine	SuperPaint
TurboJip	TurboWriter

等で作ったものをPageMakerでまとめMICROLINE801PS, Monotypeでプリントしました。

1991/10/19 第17号
発行 岩手Mac友の会
代表 野村行憲
020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品